

スクールバス利用要件の緩和をすべきでは  
教育長…令和5年の冬に向け関係機関で協議。前向きに調整検討する。



問

町内の国道の除排雪は、集中的な降雪や吹雪、除雪作業時間との関係から、通学時に歩道除雪が間に合わず、国道沿いの歩道が安全な通学路となっていない状況を何度も確認している。

答

スクールバス乗車要綱に基づくと、旧里見区、宮前区を除いた橋本区の一部、みどり区は対象外である。

国道の歩道除雪は、深夜12時の積雪が10cm以上で作業を開始し、本町の市街地は2時30分に終了することから、作業終了後に雪が積もり、登校時間帯の歩行に支障を来す状態であること、また、徳富川に架かる新十津川橋は、川から吹き上げる強風の影響で路面状態が悪化し非常に歩きづらく、大型車の交通量も多いので、吹雪の際には危険な場合もあると認識している。

問

今回は、国道沿いを歩く子どもたちの安全な通学路の確保という観点で質問した。橋本、みどり方面に限っての検討か。国道沿いを歩く他方面の児童生徒も含めてスクールバス運行全般を検討いただけるのか。どのような目途をもって進めるのか。

答

通学路である国道歩道や、新十津川橋の状況による危険箇所、除雪体制、距離の現行基準と他の行政区との公平性など、総合的に検討する必要があることから、令和5年度の冬期のバス運行に向けて検討する。

問

今冬の冬休み期間中にスクールバスを走らせて検証し、冬休み明けからスタートすることはできないか。  
この冬からが無理であれば、町の乗合ワゴンの乗車料金を減免し、朝の登校に係る片道分を無償化する検討はいただけないか。

答

関係機関との協議や橋本、みどり方面以外にも全体的に検討していかなければならない。今冬の交通状況も確認しながら、新年度に向けてどのように対応するか検討するため、12月からの試行は考えていない。  
バス料金の減免については考えていない。

# 町政を問う！

2名の議員が登壇しました

# ずばり

12月定例会では

来春の町長選挙への出馬の意向を伺う  
町長…次期町長選挙に出馬する。



問

これまで、多くの施策を力強く押し進めてきた姿勢はまさに「攻めの町政」と言えるのではないかと感じる。  
人口減少や少子高齢化などの社会現象に加え、新型コロナウイルスの影響による行政課題など、これまで以上に柔軟な発想と行動力が求められると考える。

答

これまで町の将来と町民の幸せと福祉の向上のために熟慮し、悔いのないよう積極的に取り組んできた。  
行ってきた政策は議会議員や町民の皆さまの深いご理解とご協力があって、町職員が一生懸命奮闘した結果でもある。

問

熊田町長から出馬の意向表明があった。3期目に向けては、特にどの課題に力を注ぎ、町政を進めていこうと考えているのかを伺う。

答

町の基幹産業である農業では、スマート農業の実装を促進し、基盤となるほ場整備などを計画的に進め、経営規模拡大への対応や、農作業の効率化を図り、食料安全保障の確立と持続可能な農業を目指していきたい。これにより、商工業の振興や地域経済への活性化につながり、町民の幸せへと連鎖をしていくものと確信している。



今後の新十津川町に対する思いと来春に行われる町長選挙への出馬の意向を伺う。